

議会あれこれ

議長からのメッセージ



古庄議長



▲本会議のようす

町長と議会は対等!

政策の決定権は議会 ゆえに責任は大

「議会改革」を公約し、議長就任してから二年、折り返しの先月三月議会のある日、町の某職員に「政策の最終決定権は誰」と問うたところ「町長」との回答に一喝。
予算を伴わない政策は無く、全て「議会が最終決定」をするのです。

地方自治の運営は、首長と議会による二元代表制であり、議会は政策の決定と、監視・評価の機能を果たすという重要な機関で、その責任は大であり、その重責を議員個々がしっかりと認識し行動しなければなりません。
また、決定方法も、個々である首長と違い、議会は多様な価値観を持った多数の議員による議論を経ての決定であり、その結論選択は、より住民の意に沿うものと言えます。
先の三月議会、その是非は別として、国による「定額給付金」支給に対する地域経済高揚支援策「プレミアム商品券」への増額補正を、議会として強く行政へ要請し、異例の議会中における補正予算計上を成し得ました。議会のあるべき姿です。

志免西小学校 分離新設・増設等 調査特別委員会設置

これからは住民の意識と価値観が益々多様化し

議会への評価と期待も厳しくなり、より以上に議論の過程を明らかにし、町の課題を住民の皆様と共有し、多様な意見を反映した政策提言や、監視機能を果たす議会へと改革して行かねばなりません。西小学校問題もしっかりと開示し議論いたします。
二年間、議会のテレビ放映他、議会改革を推進して来ましたが、今年度は、住民の皆様への議会報告会の実施など、議会の役割、責務を明らかにする、議会の最高法規「議会基本条例」の制定に本格的に取り組めます。
最後に、これからも開かれた、町民の皆様にご信頼される議会の構築に全力で取り組みますので、ご支援をよろしくお願ひ申し上げます。
(記・議長・古庄)

※議会・議員へのご意見をお待ちしております。

◆議長へのメール：simegityo@yahoo.co.jp



日本一の花づくりの町に

堅坑槽などを活かして観光PRできるので、日本一の花のまちづくりコンクールに応募するか、町独自のコンクールの開催を。

[堤議員・平成19年6月・21年3月定例会での質問]

13のボランティア団体との会議の中で研究。もう少し時間を。



▲大的交差点周辺

老人医療費

国保保険証交付せよ

答弁…社会保障制度上無理

末藤省二 議員



末藤 75歳以上で保険料を払うことができず滞納した場合、保険証が取り上げられて資格証明書が発行される。病院では医療費を10割払わなければならない。
今まで志免町の歴史を

築いてこられた方々に病院にかかるなどは、これは人の道に反すると思うが、対策をどう考えているのか。
町長 社会保障制度の公平公正の観点からは、志免町だけでどうこうできる問題ではない。
末藤 保険証の取り上げは、住民の安全と福祉を壊し、健康を脅かすもので、国民の医療を受ける権利をも奪うものである。保険料を支払われない

人、これは特別な事情にあたるのではないのか。
住民課長 高齢者医療確保法には特別な事情があり、1号から5号まで機械的に資格証明書を発行するのではなく、短期証の発行を繰り返しながら滞納をなくすように、きめ細やかに対応していく。



▲資格証明書等